

「防災で浄水器利用」採択

JICA 日本ベーシックの事業

国際協力機構（JICA）は中小企業の海外展開を支援する事業として、環境機器メーカーの日本ベーシック（川崎市）がバン格拉デシュで浄水器を活用する地域防災体制構築事業を採択した。同社は自転車搭載型の浄水器「シクロクリーン」を学校に設置し、緊急時に水を供給するほか、浄水体験学習など衛生教育に役立てる。



シクロクリーンは自転車のペダルをこぎ力を利用し、水をフィルターに通して異物や臭いを除去

する仕組み。毎分5リットルの浄水を作れる。写真。自転車に搭載しているため、自動車などで移動できない地域にも持ち込めるほか、動力源に電気やガソリンなどを使わないことが評価された。同社はバン格拉デシュで衛生確保を手掛ける現地の非政府組織（NGO）などと協力し、学校防災機能や農村の給水体制の構築も支援する。